


<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>

下関市長の部屋

検索

「市の鳥」に、「ペンギン」を制定しました。

「ペンギン」を制定しました。「市の鳥」にペンギンを制定した理由は、ペンギンと下関市との関わりが大変深く、長い間多くの方々に親しまれてきたからです。

昭和32年に、旧大洋漁業株式会社の捕鯨船が下関港に入港し、長府にあった旧下関市立水族館にエンペラーペンギンが寄贈されて以降、全国に先駆けてペンギンの飼育や繁殖に本格的に取り組んだ実績があり、当時、下関市は「ペンギン王国」と呼ばれていました。昭和35年には、林兼産業株式会社「ペンギンシスターズ」という、わが国初の女性プラスチックバンドが結成され、大変注目されました。現在は、海響館の展示施設「ペンギン村」で、計5種約130羽のペンギンを飼育・展示し、わが国を代表するペンギン水族館として多くの方に親しまれています。

ペンギンと深い関わりのある本市が、「下関市らしさ」をアピールするとともに、地元に対する愛着を深め「住み続けたい」と思えるまちづくりを生かすため、「市の鳥」ペンギンを制定しました。

ペンギンを新たな下関市のシンボルとして、本市のPRはもちろん、観光振興をはじめとする交流人口の拡大にも生かしたいと考えています。

決定までの過程は、まず、市民の皆さんから広く意見を聞くために、街頭調査によるアンケートやパブリックコメントを行い、多くの方から賛同の回答をいただきました。続いて学識経験者、公募委員で構成する下関市慣行策定委員会へ意見を求めた結果、市の鳥を「ペンギン」にすることに賛成の答申を受け、決定しました。

下関市の慣行は8項目9種類になりましたので、併せて紹介します。市の

花は「ハマユウ」、市の木は「クスノキ」、市の花木は「ツツジ」と「サクラ」、市のシンボルマークは「フクフクマーク」、市の魚は「フク」、市の虫は「ホタル」、市の動物は「クジラ」、そして市の鳥は「ペンギン」です。

今後とも一層、市民の皆さんが地元に対する愛着を深め、「住み続けたい」と思えるまちづくりを進めてまいります。皆さん、ぜひ一緒に下関の良さ、下関らしさをアピールしていきましょう。

中尾市長の似顔絵を募集しています。作品と、住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を、広報広聴課(〒750-8521市内南部町1番1号)へお寄せください。

しものせき ナビ vol.52

下関の登録有形文化財

功山寺総門

下関市長府川端一丁目2番3号

国宝の仏殿がある功山寺には、仏殿以外にも中世の建築があることをご存じですか？境内の東端に位置する総門は、往時の伽藍を髣髴とさせる建築のひとつです。

総門は、柱より上の組物や屋根は大きく改造されていますが、肘木の形状などから室町中期の建築とされます。本柱が棟木の下まで延びる点は禅宗様の四脚門の特徴を示しています。室町時代までさかのぼる禅宗様の四脚門は全国的にも数が少なく、貴重です。



禅宗寺院では境内の一番外側に置かれる正面の門を総門と呼びます。功山寺では、旧山陽道に面して総門が置かれ、仏殿に至る参道には、現在保存修理中の山門の手前まで大木が並んでいます。中世の禅宗寺院では総門の内側に植樹をするのが一般的だったようで、現在見る景観は、中世から脈々と受け継がれた貴重な歴史的景観です。功山寺の正面に位置する門であり、歴史的景観を構成する一要素であるこの総門は、規模は小さいながら建築史的にも歴史的にも大きな意味をもつ重要な門なのです。

※登録有形文化財…地域のシンボルとなっている建物など、特にその保存と活用が必要とされる身近な歴史的建造物のうち、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録した建築物や土木構造物などのこと